



五ヶ瀬川の流に

牧水の歌をたずねて

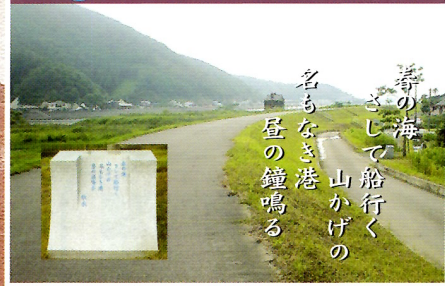
五ヶ瀬川水系 距離標

200メートル毎に設置してある距離標は、河口や本川への合流点からおよそ何キロ何メートルかを表しています。

市民の皆さまが堤防を歩いたり走ったりする時の距離の目安として、また、洪水や地震・火災などの非常時の防災情報活動に役立つものと期待しています。

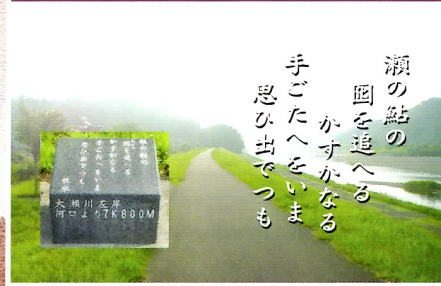
距離標には延岡ゆかりの歌人・若山牧水の歌が刻んであります。旅と酒と歌を愛した国民的歌人「若山牧水」は、明治18年東郷町に生まれ県立延岡中学校時代から創作活動を始め、43歳までの生涯で約8,700首の短歌を詠んでいます。

21 北川 右岸 2k000



寄の海
さして船行く
山かげの
名もなき港
登の鐘鳴る

15 大瀬川 左岸 7k800



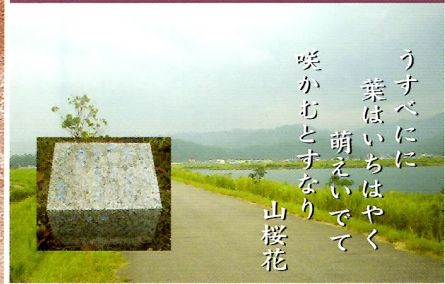
瀬の鮎の
園を這へる
かすかなる
手ごたへをいま
思ひ出でつも

1 五ヶ瀬川 河口 0k-310



川口は寄り寄る浪の
絶がしらの繁きを見ればひき潮ならし

24 北川 右岸 2k600



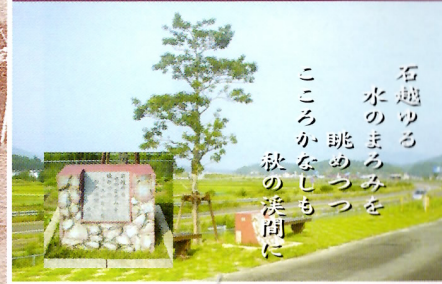
うすべにに
葉はいらはやく
萌えいでて
咲かむとすなり
山桜花

16 大瀬川 左岸 8k000

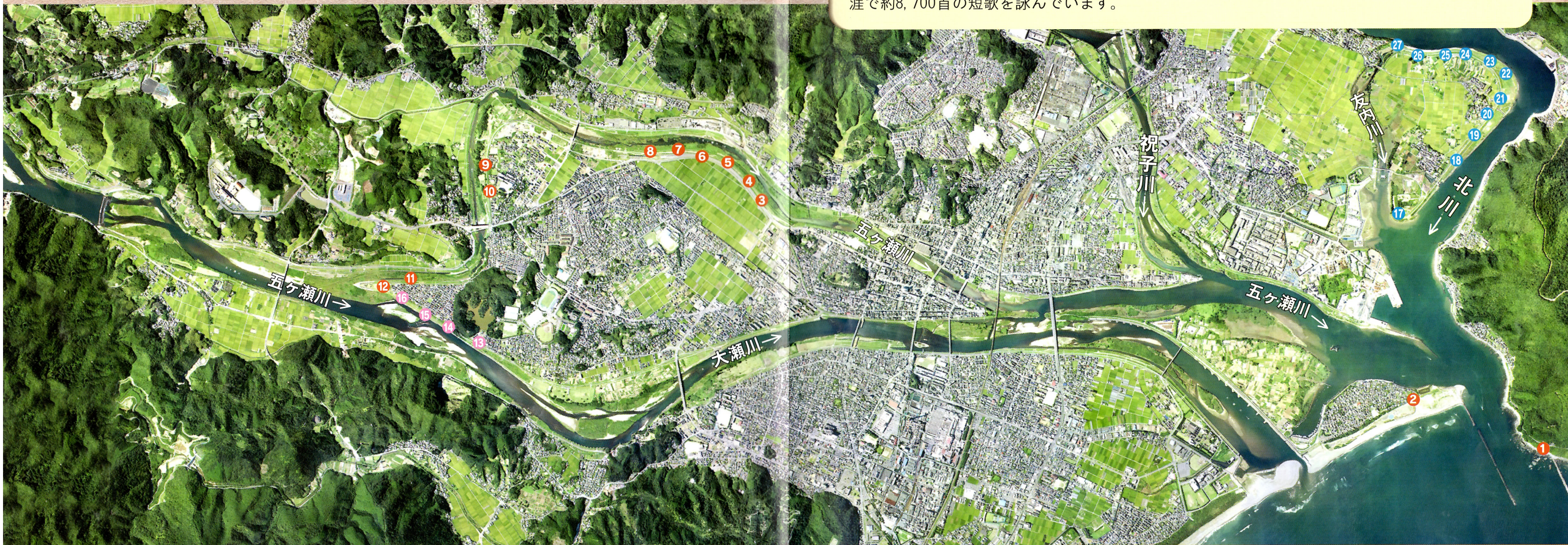


早き瀬の
此処に曲りて
幅ひろき
秋の川原に
子等あそぶ見ゆ

4 五ヶ瀬川 右岸 5k000



石越ゆる
水のまろみを
眺めつつ
こころかなしも
秋の溪間に



国土交通省九州地方整備局
延岡河川国道事務所



ホームページアドレス
<http://www.qsr.mlit.go.jp/nobeoka/>

〒882-0803 延岡市大貫町1丁目2889 TEL.0982-31-1155(代) FAX.0982-22-0489



国土交通省九州地方整備局
延岡河川国道事務所

若山 牧水の距離標和歌

17 北川 右岸 0k800

西の国
ひがしの国の
帆柱は
港に入りぬ
黙然として

18 北川 右岸 1k400

秋かぜは
空をわたれり
ゆく水は
たゆみもあらず
葦刈る小女

19 北川 右岸 1k600

山ねむる
山のふもとに
海ねむる
かなしき春の
国を旅ゆく

20 北川 右岸 1k800

おとなりの
寛のおぢやんに
物申す
永く永く生きて
お酒飲みましょう

21 北川 右岸 2k000

春の海
さして船行く
山かげの
名もなき港
昼の鐘鳴る

22 北川 右岸 2k200

まんまるに
袖ひきはせ
足ちぢめ
日向にねむる
父よ風邪ひかめ

23 北川 右岸 2k400

春あさき
田じりに出でて
野芹つむ
母のころに
俵ひのあれ

24 北川 右岸 2k600

うすべにに
葉はいちばやく
萌えいでて
咲かむとすなり
山桜花

25 北川 右岸 2k800

病む母を
なくさめかねつ
あけくれの
庭や掃くらむ
ふるさとの父

26 北川 右岸 3k000

母を想へば
わが家は
正のごとく冷たし
父を思へば
山のごとく温かし

27 北川 右岸 3k200

小舟もて
釣りゆく人の
羨しきよ
竹藪かげに
糸を垂れつつ

13 大瀬川 左岸 7k400

上つ瀬と
下つ瀬に居りて
をりをりに
呼び交わしつつ
父と釣りにき

14 大瀬川 左岸 7k600

釣り喜し
帰れば母に
叱られき
叱れる母に
渡しき鮎を

15 大瀬川 左岸 7k800

瀬の鮎の
圖を追へる
かすかなる
手ごたへをいま
思ひ出でつも

1 五ヶ瀬川 河口 0k-310

川口は寄り寄る浪の
穂がしらの聲を見ればひき潮ならし

2 五ヶ瀬川 河口 0k000

ふるさとの日向の山の
荒溪の流流りして鮎多き桂みき

3 五ヶ瀬川 右岸 4k800

山川の
すがた静けき
ふるさとに
帰り来てわが
労れたるかも

4 五ヶ瀬川 右岸 5k000

石越ゆる
水のまろみを
眺めつつ
こころかなしも
秋の溪間に

5 五ヶ瀬川 右岸 5k200

山々の
せまりしあひに
流れたる
河といふもの
寂しくあるかな

6 五ヶ瀬川 右岸 5k400

宍がすむ
恋の国辺と
わが住める
國のさかひの
一すぢの河

7 五ヶ瀬川 右岸 5k600

見て立てる
われには怯ぢず
羽根つらね
浮きてあそべる
鴨鳥の群

8 五ヶ瀬川 右岸 5k800

幼き日
釣りにし鮎の
うつり香を
いまでのひらに
思ひ出でつも

9 五ヶ瀬川 右岸 7k400

野と町の
さかひの藪の
木がくれに
春のあけほの
行く水の音よ

10 五ヶ瀬川 右岸 7k600

瀬々に立つ
あしたの鶯の
かたよりて
なびかふ藪に
うぐひすの啼く

11 五ヶ瀬川 右岸 8k600

浅川の
せせらぎ澄みて
流れたり
うららかなも
鶯の声

12 五ヶ瀬川 右岸 8k800

日向の国
むら立つ山の
ひと山に
住む母恋し
秋晴の日や

距離標和歌の作者

若山 牧水



1885年(明治18年)
宮崎県東臼杵郡東郷町に生まれる。

1899年(明治32年)
県立延岡中学(現延岡高校)に入学。

1903年(明治36年)
この秋頃から牧水の号を使い始める。

1926年(大正15年/昭和元年)
詩歌総合雑誌「詩歌時代」を創刊。
各方面から賞賛を受ける。